

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 危機管理室 危機管理課

事業名	危機管理体制整備事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			34,248	92,042	351,954	
【目的】 堺市に甚大な被害をもたらす自然災害から、市民の生命・身体・財産を守るため、危機管理体制を整備し、災害対応の実践力を向上させる。 【内容】 ○災害対策本部機能の強化 災害対策本部の機能を強化するため、本庁舎が被災した際の本部代替施設の検討を進める。 ○情報発信力の強化 美原区の同報系防災行政無線をアナログ方式からデジタル方式へ移行し、機能を向上させる。また、Jアラートに対応した全市域への情報伝達手段の整備を推進する。 ○情報発信の一元化 災害情報を迅速かつ多様な手段で市民に伝達するため、情報発信を一元管理できるシステムを構築する。 ○受援計画の検証 大規模災害時に他の自治体や関係機関、ボランティア等の応援を迅速かつ効率的に受け入れ、本市の災害対応に活かすため策定した「堺市受援計画」に基づく訓練を実施し、対応力の向上を図る。 【今年度要求のポイント】 平成28年(2016年)熊本地震や近年多発する局地的豪雨などの災害発生状況を踏まえ、災害対策本部機能や情報発信力の強化、受援体制の構築により、危機管理体制の強化を図る。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
			H ~ H			
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	災害対策本部機能の強化	5,581	6,370	テレビ会議システムリース等		
	情報発信の強化	70,423	214,928	美原区無線デジタル化工事		
	情報発信の一元化	0	88,000	情報発信システム改修		
	受援計画の策定・訓練・検証	4,994	5,130	受援計画検証訓練等		
	総合防災訓練の実施	4,260	5,847	総合防災訓練会場設営等		
	被災者生活支援システムの導入	0	25,000			
その他	6,784	6,679				
合計	92,042	351,954				
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～29年度)】 ・防災行政無線屋外スピーカー、モーターサイレンの設置、改良 ・美原区防災行政無線デジタル化調査 ・災害対策本部用テレビ会議導入 ・受援計画の策定		【30年度】 ・災害対策本部機能強化 ・受援計画に基づく訓練の実施 ・美原区防災行政無線のデジタル化 ・情報発信手段の一元化		【今後予定(31年度～)】 ・美原区防災行政無線のデジタル化 ・防災行政無線の更新		
その他 特記事項						
関連事業：						